

議 事 概 要

目 的	第1回尾鷲市総合計画審議会 部会協議
-----	--------------------

日 時	平成28年6月3日(金) 20:10~21:00
-----	--------------------------

場 所	本庁3階 会議室
-----	----------

部 会 名	第4部会
-------	------

内 容	<p>○出席者 委員：堀内 達也、南 進、北裏 佳代 市：教育総務課 佐野課長、生涯学習課 芝山課長、福祉保健課 丸田係長、市長公室 森下係長</p> <p>○主な協議等内容</p> <ul style="list-style-type: none">・部会長 堀内 達也 氏・次回開催日 平成28年7月5日(火) 19時～・質疑応答 以下のとおり <p>委員 今後の作業はどういった進め方になるのか。</p> <p>芝山課長 10年計画の前半5年間を振り返ってみて、市民が各施策についてどれだけ満足しているかというところ、また、重要度が5年間で少し変化してきているものもあるかもしれない。その辺を後期の5年間に向けて見直したい。事業の優先順位など、満足度や重要度に合わせて位置づけを変えていくのが、今からの作業である。</p> <p>委員 前回の審議会の時に「青パト」の台数を増やしてくれなどと言ったが、そういう意見を言っても構わないのか。</p> <p>佐野課長 もちろん、事業を振り返って足りないのではないかと思う部分には、提案をいただきたい。</p> <p>森下係長 前期の総合評価書について意見をいただき、意見を反映した後期基本計画素案を作り、それを元に後期の5年間事業を行っていくという流れで進めていきたい。</p> <p>委員 最終的な満足度の数値が10年の目標であるが、27年はまだ低いところもある。達成する段階なのか。</p>
-----	--

佐野課長

そういう意味では 10 年計画の前期が終わる時であり、目標を達成するためには後期ではこういうことをしなければならぬという指摘をしてもらいたい。子育て支援の施策のところ、22 年が満足度 2.71 で 27 年が 2.72 ということは微妙な変化である。もう少し効果をあげるには、市民は何をやってほしいのか検討する必要がある。この施策の内容は制度としてしなければならない事業が多い。国が定めた制度を変えることは出来ない、事業が 15 ある中で、位置づけの順位を絞っていった方がよいのではないか。

芝山課長

第 4 部会は子育て支援、子育ての魅力を高めるという部会になると思う。それぞれの項目の中で市民のニーズがどこにあるのかということもアンケートから読み取らなければいけない。どこに市民のニーズが高まっているのか、ニーズが高いけれども満足度が低いところを見て、どういう事業展開をしたらいいのかを皆で議論したい。

佐野課長

5 点満点の中の点数が満足度で言うと 2.72 であったり、重要度は 4.1 であって、重要度は高いけど満足度は低いというように見てもらうとよい。

委員

他所では、保育園に入りたくても入れない人が多いという問題が結構あるが、尾鷲では別にそれはないのか。

丸田係長

待機児童はほぼゼロである。4 月入園ではほぼ希望どおりの園にいける状態ではあるが、年度途中で生まれたとか、転入してきたとなると、低年齢児だと先生を多めに付けなければいけないので、ちょっと待っていただくことはある。

佐野課長

幼稚園のほうは今のところ定員に満たない状況である。

丸田係長

保育園ではないが、元々は従業員のための施設で、従業員の希望がほとんどないということで、従業員以外の子どもも預かってくれる民間の施設もある。

委員

なぜ保育園に行って、幼稚園に行かないのかという話になり、時間帯が短いということで、少し時間を延長できないか話をしたことがある。

佐野課長

そもそも幼稚園は文部科学省で教育に重きを置いていて、保育園は厚生労働省で保育である。やはり幼稚園は時限別でやっている、今だと 2 時頃で終わるが、先生たちは 4 時半過ぎまではきっちりやっている、その間、色んなご相談にも乗ったりしていただいている。

森下係長

個別事業の議論の中に入ってきているので、次回、それぞれの事業は一体どんな事業なのかというこ

とをざっと説明させてもらう。次回は重要度などを見ながら、この事業はもうちょっとこうあるべきではないかというところを議論していただきたい。